

牧之原だより

昭和55年 6月1日 発行

第8号

牧之原畑地総合整備土地改良区

島田市中央町26番1号

電話<05473> 6-0984

6-0682

第9回通常総代会開催



十六議案原案通り可決

牧之原畑地総合整備土地改良区
第九回通常総代会は、去る三月二
十八日島田市農業協同組合大会議
室において、加藤理事長をはじめ
総代八十四名、役員、来賓、関係
市町の方々等、多数のご出席をい
ただいて盛会のうちに開催されま
した。

まづ物故された総代の坂本文一
氏（浜岡町）鈴木太一氏（相良町）
（元水庸氏（相良町）の三氏に
対し、出席者全員が黙悼を捧げ、
九時四十分村田副理事長が開会を
宣し、加藤理事長の挨拶に続いて
来賓祝辞として戸塚参議院議員、
大屋関東農政局牧之原農業水利事
業所長、農地森林部宇藤水利整備
課長から、「厳しい予算状況下にあ
るが、一人一人が事業の重要性に
対する認識をあらたにして、着
実に事業を進めていくため地元関
係者の一層の理解と協力を得たい
」との挨拶がありました。

議長に植田賢一氏



議長には、当日出席された総代
の中から相良町の植田賢一氏が満

場一致で選任され、提出議案十六
議案は、慎重審議の結果原案通り
可決されました。

又同日執行された役員補欠選挙
では、相良町の中村福司氏、植田
賢一氏、御前崎町の曾根竹治氏、
高塚佐平次氏がそれぞれ無投票で
新理事に決定され、十二時二十分
和副理事長の閉会の言葉をもち
て全日程が無事終了しました。

“又も大きな晩霜被害”

— 現地の温度調査始まる —

去る四月十八日、奇しくも昨年
と同じ日に襲った降霜は、新茶摘
採を控えた当牧之原地域五千七百
畝の茶園にもその被害を与えまし
た。

被害を受けた農家組合員の心中
は察するに余りありますが、今年
の降霜は新聞報道にもありました
ように、昨年と比べ茶の生育が五
日程遅れていたこと、又凍害が少
なかったことなどから被害を最少
限に止められたことは、不幸中の
幸いであつたといえましょう。

過去幾多の霜害に悩まされ、
天災としてなかなばあきらめていた
ものが、近年とみに防霜対策につ
いてさまざまな方策の研究が進め
られ、最近では、寒冷紗、ファン、

スプリングラーなどによって各々それなりの成果が挙げられていきます。

ところで、牧之原畑地総合整備土地改良事業の大きな柱の一つであり、背骨ともいえる国営事業が五十四年度から着工されました。

また、その手足部である県営事業も着々と準備が進められており、中でも二年続きの霜害に関連して降霜に大きく起因する温度について、この地域における実態を把握し、畑かん計画の具体的諸元を樹立するため、今年の二月から関係地区内六十四ヶ所に自記温度計を設置し、観測をしておりますが、今回の降霜時における温度も、当然のことながら収集されました。降霜と温度との関係が密接不離であることは一般的に理解されていくことであります。

が、最低温度が何度であつたか、また気温（地上・五センチ・三度C以下にさがつていた時間が何時間が何時間



▲自記温度計（島田市湯日）

あったかが問題である、と言われている。

いづれにしても降霜のような自然現象については短兵急に結論は出せず、この温度観測も四、五年

関東農政局牧之原農業水利事業所

機構の拡充はからる

五十五年度予算

六億九千万円

昭和五十三年十月開設された「関東農政局牧之原農業水利事業所」は、当初大屋所長以下八名でスタートされましたが、昨年は、二課五係十三名のスタッフによって

の計画で行なわれることになっており、今後凍霜害防止策を検討していく上で、関係機関から大きな期待が寄せられています。

調査測量等が実施され、更には、送水管一千五百メートルの埋管工事が実施されてきました。

五十五年度予算も六億九千万円（前年対比百七十三割）が内示さ

第9回通常総代会において 役員補欠選挙を執行

第四区（相良町）の寺尾尚夫氏、海野正策氏、又第五区（御前崎町）の高塚里治氏と、増田美司氏四理事の辞任に伴う補欠選挙は、牧之原畑地総合整備土地改良区役員選挙規程に基づいて、去る三月十五日に告示され、三月二十八日開催された第九回通常総代会において執行されました。

選挙会は、かねて理事長より選任委嘱された選挙管理者の赤堀九

れ、事業所の機構も三課七係一工区二十名（所長を含まない）と、大きく強化され、国営事業の大きな展開が期待されています。



▲中央幹線水路埋管工事現場

二男氏（相良町）と、選挙立会人の柴田照二氏（島田市）、鈴木孝十氏（御前崎町）、河原崎義郎氏（浜岡町）の手で行なわれました。この選挙会において、補欠人員四名に対し先に推せん、もしくは立候補されていた方が四名であり、次の方々が無投票で当選され、四月八日新理事として就任されました。

第四区（相良町）

中村福司氏 植田賢一氏
第五区（御前崎町）
曾根竹治氏 高塚佐平次氏
これら新理事の方々は、残りの任期約一年六ヶ月をおつとめたべくことになり、牧之原畑地事業のためその活躍が期待されています。

国営事業 川口取水口水利模型 実験を開始！！

牧之原畑かん事業の水源となる長島ダム建設も、建設省の手によって着々と進められ、国営事業も、五十四年度金谷町西原地内に、基幹水路である中央幹線パイプの埋設工事（一五〇〇メートル）を開始、牧之原台地の畑地かんがい事業も実質的なスタートが切られた訳であります。



▲川口発電所(島田市川口)

国営水利事業所は、五十四年、五十五年の二ヶ年にわたって、農林水産省農業土木試験場(茨城県筑波郡谷田部町)に水利模型実験を委託して、本計画の心臓部ともいえる取水口が予定されている中部電力川口発電所放水口から既設の大井川用水と、当畑かん用水の取水口、及び一号トンネル、大井川サイホン、二号トンネル等、一連の水利施設の模型(十三分の一)を作製して水利実験を開始しました。

この実験は、将来完璧な取水施設を建設するために、専門的な立場から水理構造、機能等の研究調査が進められるもので、これらの成果を基本として、待望する大井川の水を牧之原台地に導水する取水口工事が着工される予定です。

牧の原農業用水建設事務所人事異動の紹介

県営牧の原農業用水建設事務所では、新年度の人事異動によって、事業課長ほか三人の方々がかわられましたので紹介します。

わり前農地企画課計画係長の小林啓二氏が就任し、事業課第一係長伊藤久次氏にかわって、前浜松土地改良事務所圃場整備課主任の吉岡 信氏が、事業課第二係長の田端英丈氏にかわり、前島田土地改良事務所県営改良課防災係長の石垣茂男氏が、又事業課主任の松浦茂氏にかわって、前清水土地改良事務所県営改良課整備係主任の山

第九回通常総代会の結果

日時 昭和五十五年三月二十八日 九時三十分
場所 島田市農業協同組合大会議室
出席総代八十四名(定数九十九名)

来賓 前衆議院議員 大石 千八氏代理
参議院議員 戸塚 進也氏

関東農政局牧之原農業水利事業所 大屋所長
静岡県農地森林部 宇藤水利整備課長
〃 牧之原農業用水建設事務所 渡井所長 他
関係市町担当課長

議長 植田賢一氏
議事録署名人 鈴木武夫氏 森下辻夫氏

議事

承第一号 昭和五十三年度事業報告書の承認について
承第二号 昭和五十三年度財産目録の承認について
承第三号 昭和五十三年度牧之原畑地総合整備土地改良区一般会計収支決算承認について

内光男氏がそれぞれ就任されました。

小梁辰雄会計係長退職

牧之原畑地総合整備土地改良区事務局の小梁係長は、去る三月三十一日付をもって退職し、招かれて、四月一日から焼津市小川第二

土地区画整理組合に入所されました。

小梁氏は、昭和四十九年四月当改良区事務局に就職されて以来六年の間、主として庶務会計を担当され、よくその責を全うされてきました。

事務分量の大巾な増加がみこまれる時、氏の手腕に期待していた役職員に大変惜しまれています。

承第四号

昭和五十三年度牧之原畑地総合整備土地改良区借入金償還積立特別会計収支決算承認について

承第五号

昭和五十三年度牧之原畑地総合整備土地改良区職員退職給与積立特別会計収支決算承認について

承第六号

昭和五十四年度牧之原畑地総合整備土地改良区一般会計収入支出補正予算専決処分承認について

第一号議案

役員・総代等の報酬及び費用弁償支給規程の一部改正について

第二号議案

昭和五十五年度牧之原畑地総合整備土地改良区一般会計収入支出予算

第三号議案

昭和五十五年度牧之原畑地総合整備土地改良区借入金償還積立特別会計収入支出予算

第四号議案

昭和五十五年度牧之原畑地総合整備土地改良区職員退職給与積立特別会計収入支出予算

第五号議案

昭和五十五年度経費の賦課徴収の時期及び方法について

第六号議案

昭和五十五年度において関係市町より助成を受けることについて

第七号議案

昭和五十五年度長期債について

第八号議案

昭和五十五年度借入金について

第九号議案

昭和五十五年度歳計現金預入先について

第十号議案

附帯決議

選第一号

役員の補欠選挙について

(以上原案通り可決されました)

昭和53年度事業報告書

1. 地区及び組合員の状況

イ. 地 区

昭和54年 5月31日調製
総面積 6,070ha

事業種別	年度別地積	前年度末地積	本年度末地積	増 △ 減	本年度賦課地積
県営畑地帯総合土地改良事業		6,070ha	6,070ha	—	5,145ha

ロ. 組合員

市町村居住別	年度別員数	前年度末員数	本年度末員数	増 △ 減	附 記
島 田 市		1,054人	1,054人		
金 谷 町		1,225	1,225		
榛 原 町		1,239	1,239		
相 良 町		2,273	2,273		
御 前 崎 町		731	731		
掛 川 市		344	344		
菊 川 町		1,064	1,064		
小 笠 町		520	520		
浜 岡 町		858	858		
合 計		9,308	9,308		

2. 経理の状況

イ. 長期借入金（農林漁業資金）

- (イ) 借 入 先 農林漁業金融公庫東京支店
 (ロ) 借入目的 県営事業地元負担金へ充当
 (ハ) 償還方法 10年据置、15年元利均等償還

年 度	借入年月日	借 入 金	利 率	据置期限	償還期限	摘 要
過 年 度 (48～52)	49.2.13～ ～53.3.16	千円 774,505	6.2～6.5%	58.11.15～ ～61.11.15	73.11.15～ ～76.11.15	・牧之原南部地区(11口) 254,230千円、牧之原東部地区(5口) 69,610千円 ・牧之原西部地区(8口) 314,300千円、日東地区(8口) 136,365千円
現 年 度 (53年度)	54. 1.31 " " " " " " 54. 3.13 " " " " " " 小 計	102,680 138,280 39,350 18,590 11,330 19,540 5,970 7,570 343,310	6.05 " " " " " " "	63.11.15 " " " " " " "	78.11.15 " " " " " " "	牧之原南部地区 " 西部地区 " 東部地区 日 東 地 区 牧之原南部地区(追加分) " 西部地区 " 東部地区 日 東 地 区
計		1,117,815				

ロ. 短期借入金

借 入 先	借入年月日	目 的	借 入 金	利 率	償 還 方 法
島田市農業 協同組合島 田支所	54. 3.30	牧之原南部地区53年度県営事業分担金(公庫融資残)に充当 牧之原西部地区 牧之原東部地区 日 東 地 区	1,039千円 1,270 464 834	8.6%	償還財源は54年度特別賦課金とし償還期日を54年11月15日までとする。
計			3,607		

3. 賦課金の納入及び滞納の状況

年 度	区 分	調 定 額	収 入 済 額	滞 納 額	収 入 歩 合	摘 要
過 年 度	経常賦課金	98,080,964円	96,022,144円	2,058,820円	97.9%	
	特別賦課金	67,185,166	67,123,486	61,680	99.9	
現 年 度	経常賦課金	24,649,793	22,794,883	1,854,910	92.4	
	特別賦課金	49,551,194	49,023,954	527,240	98.9	
計	経常賦課金	122,730,757	118,817,027	3,913,730	96.8	
	特別賦課金	116,736,360	116,147,440	588,920	99.5	

昭和53年度財産目録 (昭和54年 5 月31日調製)

(資 産)

○流動資産

現金及び預金

現金

預 金

未収入金

未収賦課金

静岡銀行島田支店 普通預金 1口

過年度(48~52年度)分 経常賦課金 2,058,820円

特別賦課金 61,680円

現年度(53年度)分 経常賦課金 1,854,910円

特別賦課金 527,240円

○基本財産

債

券

日本電信電話公社債 額面 10,000円 3枚

" " " 100,000円 1枚

○特定資産

農地転用決済預金

(借入金償還積立金)

退職給与引当見返り預金

事務所建設費積立預金

経常費調整積立預金

○固定資産

備

品

自動車外 126点

資産合計

(負債)

○長期負債

借入金

元金

農林漁業金融公庫 40口 1,117,815,000円

利息

" " " 1,196,597,945円

○短期負債

借入金

元金

島田市農業協同組合 1口 3,607,000円

利息

" " " 195,469円

○積立金

退職給与積立金 6,894,943円

事務所建設費 " 28,087,679円

経常費調整 " 2,820,595円

負債合計

2,356,018,631円

昭和53年度一般会計収入支出決算

収入決算額 482,238,043円

支出決算額 474,041,443円

差引残額 8,196,600円.....翌年度へ繰越

<収入の部>

款	決 算 額	予算との比較
1. 組 合 費	71,818,837円	△ 2,375,163円
2. 助 成 金	24,646,000	0
3. 受 託 料	2,362,000	0
4. 借 入 金	346,917,000	△58,670,000
5. 雑 収 入	2,078,685	517,685
6. 繰 入 金	2,500,000	0
7. 負 担 金	22,493,000	3,080,000
8. 繰 越 金	9,422,521	0
収 入 合 計	482,238,043	△57,447,478

<支出の部>

款	決 算 額	予算との比較
1. 事 務 費	38,587,813円	△ 2,483,187円
2. 総 代 会 費	864,535	△ 194,465
3. 会 議 費	708,109	△ 703,891
4. 事 務 所 費	887,200	△ 86,800
5. 選 挙 費	0	△ 100,000
6. 事 業 費	2,362,000	0
7. 分担金及負担金	369,972,509	△55,613,491
8. 推 進 費	1,685,339	△ 4,661
9. 借 入 金 償 還	48,992,640	△ 605,360
10. 諸 費	1,738,900	△ 1,100
11. 組合費徴収費	3,242,398	△ 82,602
12. 財 産 費	5,000,000	0
13. 予 備 費	0	△ 5,768,521
支 出 合 計	474,041,443	△65,644,078

昭和53年度借入金償還積立特別会計収入支出決算

収入決算額 11,743,626円

支出決算額 0円

差引残額 11,743,626円……翌年度へ繰越

＜収入の部＞

(△印減)

款	決 算 額	予算との比較
1. 決 済 金	1,753,594円	1,253,594円
2. 雑 収 入	511,863	6,863
3. 繰 越 金	9,478,169	213,169
収 入 合 計	11,743,626	1,473,626

＜支出の部＞

款	決 算 額	予算との比較
1. 償 還 金	0円	△10,270,000円
支 出 合 計	0	△10,270,000

＜支出の部＞

款	本年度予算額	前年度との比較
1. 事 務 費	49,629,000円	7,793,000円
2. 総 代 会 費	1,141,000	90,000
3. 会 議 費	1,453,000	226,000
4. 事 務 所 費	969,000	30,000
5. 選 挙 費	100,000	0
6. 事 業 費	6,467,000	4,318,000
7. 分担金及負担金	525,748,000	33,000
8. 推 進 費	1,500,000	0
9. 借 入 金 償 還	93,707,000	24,218,000
10. 諸 費	1,740,000	0
11. 組 合 費 徴 収 費	1,806,000	△ 4,416,000
12. 財 産 費	5,000,000	0
換地清算交付金	0	△ 3,880,000
13. 予 備 費	2,000,000	0
支 出 合 計	691,260,000	28,412,000

昭和53年度職員退職給与積立特別会計収入支出決算

収入決算額 6,894,943円

支出決算額 0円

差引残額 6,894,943円……翌年度へ繰越

＜収入の部＞

(△印減)

款	決 算 額	予算との比較
1. 繰 入 金	1,500,000円	0円
2. 雑 収 入	356,651	651
3. 繰 越 金	5,038,292	87,292
収 入 合 計	6,894,943	87,943

＜支出の部＞

款	決 算 額	予算との比較
1. 退 職 給 与 金	0円	△ 6,807,000円
支 出 合 計	0	△ 6,807,000

昭和55年度借入金償還積立特別会計収入支出予算

＜収入の部＞

(△印減)

款	本年度予算額	前年度との比較
1. 決 済 金	1,000,000円	500,000円
2. 雑 収 入	758,000	213,000
3. 繰 越 金	14,516,000	2,511,000
収 入 合 計	16,274,000	3,224,000

＜支出の部＞

款	本年度予算額	前年度との比較
1. 償 還 金	16,274,000円	3,501,000円
還 付 金	0	△ 277,000
支 出 合 計	16,274,000	3,224,000

昭和55年度一般会計収入支出予算

＜収入の部＞

(△印減)

款	本年度予算額	前年度との比較
1. 組 合 費	126,005,000円	30,609,000円
2. 助 成 金	32,497,000	6,540,000
3. 受 託 料	6,300,000	4,300,000
4. 借 入 金	514,700,000	15,570,000
5. 雑 収 入	1,290,000	274,000
繰 入 金	0	△ 2,950,000
6. 負 担 金	10,467,000	△15,552,000
換地清算徴収金	0	△ 3,880,000
7. 繰 越 金	1,000	△ 6,449,000
収 入 合 計	691,260,000	28,412,000

昭和55年度職員退職給与積立特別会計収入支出予算

＜収入の部＞

款	本年度予算額	前年度との比較
1. 繰 入 金	1,500,000円	0円
2. 雑 収 入	376,000	0
3. 繰 越 金	7,036,000	142,000
収 入 合 計	8,912,000	142,000

＜支出の部＞

款	本年度予算額	前年度との比較
1. 退 職 給 与 金	8,912,000円	142,000円
支 出 合 計	8,912,000	142,000